

公表: 令和 6年 2月 21 日

事業所名 : アプリキッズ桑名野田

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10			広く使用できるように物は、壁側にあります。	なし
	②	職員の配置数は適切であるか	10			保育士が毎日配置できるようにスケジュールを組んでいます。	なし
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	2		トイレ誘導の際に走らないというルールを設けている	室内の段差だあり転倒したことがある。ルールを明確にしていき支援方法を統一・強化していきましょう。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10			掃除に力を入れています。	当たり前に行っていることですが景色にならないように職員に感謝していきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	10			毎月目標を変化させ自分たちと向き合っています。	自分に→をむけて小さな目標をクリアして達成感を感じて勤務していきましょう。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	2		評価表の掲示あり。	次回会議で説明していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	2		評価表の掲示あり。	次回会議で説明していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	2		監査後の結果を連絡通知として公表しています。	特になし
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			毎月欠かさず行っています。	欠席した職員への会議のリプランを忘れないようにしていきます。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10			更新書類は、職員全員が把握できるようにしている。	更新のたびに月1回の会議で言えるようにしていきたいです。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10			全員に同じものを使用しています。	アセスメントシートを閲覧することが少ない為更新や閲覧に関して改善していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10			特になし	特になし
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10			特になし	特になし
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			毎月社員のみで会議をしています。	事前にプランニングする習慣をつけてもらっています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			毎月社員のみで会議をしています。	ワクワクするを基本として立案できるようにしています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	10			特になし	特になし
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			担当の明確化・見える化・役割分担をしています。	1週間分の自分の役割を事前に掲示し確認しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2		特になし	全員では、難しい部分があります。1週間分の出来事を振り返りシートなどで共有できるようにしていきたいです。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			特になし	特になし
関係機関	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	10			特になし	特になし
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			特になし	特になし
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	10			特になし	特になし
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	4	4	特になし	現在医療的ケアの児童は、いません。

こや保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	4	4	特になし	現在医療的ケアの児童は、いません。
	㉑	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2	8		特になし	幼稚園や保育園に提出する用の用紙があると良いと思います。
	㉒	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		9	1	特になし	卒業するときの用紙があると良いと思います。
	㉓	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	6		特になし	特になし
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		5	5	特になし	特になし
	㉕	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		5	5	地域のイベントへは、参加しています。	知ってもらうことから始めています。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			特になし	ご家族様との会話内容を職員同士で共有できるようにしていきたいと思っています。
	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	6		特になし	ご家族様との時間がとれるようにプランニングしていきます。
保護者への説明	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			特になし	忘れてしまっているご家族様がいるため定期的に伝える工夫がいていると思っています。しかしまだ答えは、みつかっていません。
	㉙	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10			特になし	特になし
	㉚	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			特になし	もう少し時間を確保して、ご家族様と話をする時間を作ったほうが良いと思っています。面談回数の見直し
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	4	特になし	特になし

明責任等	⑳	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10			職員同士の報・連・相を絶対にしていません。	忘れてしまっている時もある為改善が必要です。
	㉑	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	2	8		特になし	会報を月1で出せると良いと考えています。
	㉒	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10			特になし	特になし
	㉓	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	2		特記のある児童やご家族様に関しては、職員で伝達方法を工夫しています。	うまく伝わらないことも多いです。この言い方は、伝わらないなど職員での情報交換を常にしていきます。
	㉔	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	5	特になし	特になし
非常時等の対応	㉕	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10			特になし	マニュアルを読むという期間を設けてもよいと考えています。
	㉖	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			特になし	仕切る人を変えて月1でも簡易的に行っていけたらとも考えています。
	㉗	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10			基本投薬は、ありません。	風邪薬が入っている時は、管理者・児発管が管理をしていきます。
	㉘	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	10			掲示済 毎日の朝礼で当日のアレルギーを伝えている。	毎日のことで意識が低下していることもあります。生死の問題にも関わりますので、真剣に取り組めるように教育していきます。
	㉙	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10			掲示して内容を確認しています。	日々の小さなヒヤリハットを次の日に伝えられるようにしていきたいと思います。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			基本2か月に1回ですが、研修時に気になることを伝えるようにしています。	職員の力量(予測する力・支援方法)が少ないと、虐待に繋がってしまうことを認識して教育をしていきます。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	10			身体拘束をしないように研修を続けていく	1回伝えるだけでなく、確認することを目標に定期的に言葉にしていきます。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。